



暑気払い



吉田光延 画

発行
 社会福祉法人いわき福音協会
 はまなす 荘
 いわき市平中平窪字二堂田2
 〒970-8002 ☎(0246) 8711
 編集責任
 はまなす荘新聞編集委員会

令和三年度も折り返しを迎えます。今年の夏は、オリンピック、パラリンピックで、アスリートから感動と勇気をもらいました。しかし、九州地方や西日本にもたらされた大雨の被害で、夏の思い出は予想以上に残念な結果になってしまいました。何とか社会が立ち直ることを、後半に期待したいものです。それにしても、コロナ禍で、利用者の約二年間の自粛を余儀なくされていた生活をとり戻すのは、容易なことではないと思います。この二年間、利用者には本当に不自由な生活をさせてしまったという気持ちで申し訳なく思っています。

新しい生活様式になって、我々も気持ち切り替え、改めて、利用者に満足してもらえる良質な支援を提供することを目指しています。コロナ禍で、施設行事や職員の研修等が制限され、施設の中で、利用者と共に活動することが多くなったことをプラスに考えれば、職員一人ひとりの意欲や努力の見せどころだと思っています。

日々是好日
 所長：志賀道子

こんな時だからこそ、一丸となって共に生き、共に話し、共に笑い、共に泣き、共に喜び、本来の入所施設のあるべき姿を取り戻しましょう。私たちにとって、利用者の笑顔や毎日の行動は、支えであり、どんなに勇気づけられないか計りしれないものがあります。職員はそれに甘んじることなく、利用者の心が充足するための支援を、共に生きることから利用者の思いを受けとめ、利用者主体の支援に結びつくよう努めます。



南限の花

アジア初のオリンピックク一九六四年東京オリンピックから五十七年、新型コロナウイルスの影響もありましたが、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックが一年遅れで無事開催されました。

前回のリオデジャネイロオリンピックのメダル獲得数を上回っていた事から選手たちの今大会に懸ける意気込みが強く感じられるものとなりました。今大会で正式種目になった種目でも続々とメダルを獲得する選手がいきました。(最年少で何と十三歳！)

いわき市でもクラスターが発生し不要不急の外出を控える様要請が出ていたこともありSTAYHOMEでの応援となっていました。選手たちは華々しい活躍を見せてくれましたね。

自治会役員選挙

五月十四日(金)令和三年度自治会役員改選が行われました。

今年度は、会長二名、副会長一名、書記三名が自薦他薦を含め立候補されました。そして、厳正なる投票の結果、会長に清水智恵美さん、副会長に伊藤しのぶさん、書記に青木清さんと長谷川真弓さん(その後、はまぎく荘に移行

となり、現在は次点の阿部恵子さん)が新役員として決定しました。特に、今回会長となった清水智恵美さんは、念願の初当選を果たしました。

その中で、接戦の相手の八巻隆さんも、笑顔で「おめでとう！」と祝福の言葉を送る場面は、とても微笑ましかったです。

自治会は今年度も、毎月第一火曜日に実施して行きます。今回の新役員と利用者の皆さんと共に、希望を聞きな

から、今後も楽しく活動して行きたいと思えます。



春のふれあいレクリエーション

六月十七日(木)にはまま体育館にて、春のふれあいレクリエーションが行われました。前年度はコロナ禍という事で、開催が見送られた春のふれあいレクリエーションでしたが、今年度はマスクの着用や換気の徹底など、感染症対策はもちろん、熱中症対策も行いながら、利用者・職員

で楽しく体を動かせる内容を考え、開催しました。競技内容は、「フライングディスク」「借りの物競争」「玉入れ」の三つでした。特に盛り上がりを見せた「借りの物競争」では、利用者はもちろん、職員も本気になってゴールを目指し、応援にも熱が入りました。紅組の勝利で幕が下ろされた今年度の春のふれあいレクリエーション。来年こそ、保護者・ボランティアの方々と共に、この楽しく活気あふれる

時間を一緒に過ごせますように☆☆



はまなす 夏祭り

七月二十九日(木)にはまなす荘夏祭りを開催しました。

今年も、毎年恒例となりつつある職員特製のお好み焼き、かき氷、ソフトクリームなど、賑やかに屋台が並びました。他にも、くじ・うちわ・エアースティックなどの出し物もあり、わくわくしながらくじを引く利用者が印象的でした。

夏の風物詩と言えば「花火」。皆で外に出て手持ち花火を行いました。利用者・職員が花火に集中して、一瞬、静寂ムードになりましたが、芝生でかがやく花

火を楽しむ光景が見られました。フィナーレの噴出花火では、食堂からながめる形で、皆で釘付けになって観賞しました。

終盤、とある利用者から笑顔で「楽しい」との言葉を頂きました。外出や行事など、様々な制限をされるご時世ですが、新しい生活様式の中で、今後も利用者が笑顔で過ごせる行事を企画していきたいと思えます。



暑気払い



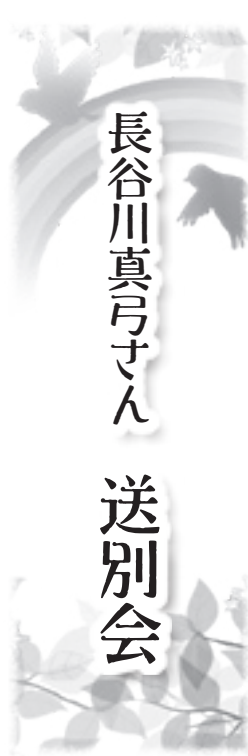
八月五日（木）暑い日が続いている中、食堂にて暑気払いが行われました。今年度もコロナ禍による自粛の中での実施となり、他の行事同様施設内での催しとなりました。

今年の目玉は、「クラブ対抗歌合戦」と称し、カラオケクラブを紅組に、ひだまりクラブを白組とし歌合戦を行い、それを聞いている利用者や職員が判定をし勝敗を決めました。大きな声で歌う人、音程をしっかりとって歌う人、踊りながら楽しそうに歌う人と様々でしたが、各クラブ代表者として、日頃の練習の成果を発表しました。思いがけず景品を貰い、みんな目を輝かせていました。

昼食は、椿山荘のローストビーフ弁当に舌鼓を打ち、お腹いっぱいの中終了となりました。来年は、コロナもなく外に出て行きたいですね。



長谷川真弓さん 送別会



六月三十日に長谷川真弓さんの送別会が食堂にて行われました。初めに自治会長の清水恵美さんから「はまぎく荘に行っても元気でいてください」との挨拶がありました。次に所長から「これから明るく元気で真弓さんらしく生活して下さい。」の言葉が

あり、真弓さんも真剣に聞いていました。利用者から花束と記念品を贈呈され、とても嬉しそうでした。その後、皆でケーキを食べながら真弓さんとの談話に花が咲いていました。さみしい中にも真弓さんのお人柄がまわりを和ませてもらいました。



普通救命—普及講習—



七月三十一日（土）に今年度一回目となる『普通救命普及講習』を実施しました。心肺蘇生法・AEDの使用

方法などの実技をメインに行い、救急車が到着するまで私達は何をすべきなのか、特に夜間は職員二名（男女一名ずつ）になる為、

どう行動すれば良いのか確認をしました。また、普段の生活でちょっとした変化や気付きを共有することで予防にも繋がると話し合いました。



どんなに訓練をしても有事の際に何も出来なかったのでは意

コロナワクチン接種



コロナ禍の中、東京二〇二〇オリンピックが開催され、アスリートから沢山の感動をもたらしている最中、変異株「デルタ株」での第五波コロナ感染拡大に歯止めが効かない状況が続いています。

はまなす荘では、全職員（パート含む）のコロナワクチン接種は二本とも六月に終了、利用者は六月〜七月にかけて二本とも終了しました。二日目接種後に副反応がみられた人もおりましたが、大事には至りませんでした。

「デルタ株」にはワクチン三回接種が有効などと話がある中、いまだに一本目も接種できていない若者が多くおり、いったいいつになったら、ワクチン接種が終了する

のか、いつになったら効果的な治療薬ができるのか、まだまだ先の見えない状況に、ほとんどの人が、「コロナ慣れ」してしまっているように思います。

コロナ禍でも、利用者がいつもと変わらない日常生活を維持できるように感染対策を継続していきます。



退所

長谷川真弓さんが六月三日付で退所され、同法人の指定障害者支援施設はまぎく荘で生活することになりました。

健康に気をつけて楽しく生活して頂ければと思います。



お悔やみ

平成十九年一月十一日より入所されていた佐藤松男さんが、令和三年七月四日に急逝されました。

ご冥福をお祈りします。



編集後記

猛暑の夏も終わり、徐々に涼しい季節となってきております。季節の変わり目ですので、体調管理に努めていきましょう。また、コロナウイルスへの対策（マスク・消毒等）も忘れずに…

